

令和4年度西粟倉村農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、中国山地を介して鳥取県と兵庫県に接した中山間地に位置し、勝英地域の中でも年平均11℃の寒冷地域となっている。全耕地面積に占める水田の割合は97%で基盤整備率が90%と整備が進んでおり、土地利用型農業の生産性向上等をより一層進めていく必要がある。

しかしながら、10aに満たない圃場を持つ小規模農家が多数を占める上、高齢化が進んでおり、年々農家戸数の減少が見られる。土地利用型作物の生産性向上、不作付地の解消等を進めるため、地域振興作物と用途限定米穀を中心に取り組み、大規模経営者・担い手農家を地域農業の中心と位置づけて不作付地の解消を進める。他の作物は、少量他品目での野菜の生産を行い、地域の直売所にて販売を行う。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

○ 適地適作の推進

- ・ 気候や圃場条件等、中山間地域の実情に応じた作物を選択していく。

○ 地域特性を踏まえた振興拡大作物の選定

- ・ 直売所等の地域内消費市場を基軸に農業振興をめざすとともに、一方では、農業従事者の高齢化・後継者不足の課題を踏まえる必要がある。より省力的な生産が可能で、かつ、病害虫リスクも比較的低いなど、将来にわたり定着化・本作化につながる振興拡大作物を総合的に衡量して選定していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

○ 水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針

- ・ 水稻を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稻作に活用される見込みがないか点検し、畑地化を促進していく。
- ・ 点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化や地域におけるブロックローテーション体系の構築への道筋を立てる。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

消費者ニーズに対応した米生産を確立するため、需要動向を見通した作付計画を策定するとともに、清流米（早場米）としての有利な条件の下で、販売の拡大を目指す。

西粟倉村で作られたあきたこまち・コシヒカリについては、全量農協にて買い取りが可能であるため、積極的に推進を行う。

(2) 備蓄米

取引価格が主食用米に準ずるため、地域担い手による大規模作付けの推進や、全農経由による政府買入入札に積極的に取り組み、安定取引を推進する。

(3) 非主食用米

主食用米の需要は全国的に減少しているが、不作付地とならぬよう水田による管理が可能な非主食用米に取り組む。水稻の栽培技術や設備を活用でき農家も取り組みやすい。飼料用米等の作付けを通して水田農業の活性化を目指し、地域担い手による大規模作付けによる安定取引を推進し、水田の維持や景観の保全を図る。

ア 飼料用米

今後の需要拡大が期待できるため生産拡大を進める。また、水稻以外の作物の転作不適地への作付けを行い、不作付地の減少や景観の保全に繋げる。全農等経路による実需者との安定取引を推進するため、普通品種から多収品種に移行していくことで、収量増大を図り、所得向上を目指す。

イ 米粉用米

主食用米と同じ工程で作付け可能な普通品種を活用し、全農等経路により実需者との安定取引を推進する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

大豆は手間がかかるが収益性のよい品目のため、優良種子の導入、機械による省力作業等の工夫をし、産地の維持を行う。

また、飼料作物は地域の畜産農家の自給を中心に作付けを行い、畜産農家の自給だけでは不足している量を耕種農家が栽培する。

(5) 地力増進作物

緑肥作物を活用し、播種、排水対策、すき込み等の作業を適期に行うことで、有機物・養分の供給効果、根の伸長やすき込んだ有機物による通気性・排水性の改善効果、降雨による土壌・養分の流亡防止効果など土壌改良効果を得て、円滑に水田の畑地化を進める取組を支援する。

推奨する具体的作物はソルガム・イタリアンライグラス（活用目的に照らして推奨する具体的作物は県ビジョンに準じる）とし、作付けを推進する。

（活用目的に照らして推奨する具体的作物は県ビジョンに準じる）

(6) 高収益作物

当該地域は10aに満たない圃場が多いため小規模経営の農家が多く、また年平均11℃の気候条件から主食用米に代わる基幹農産物の確立が難しい現状がある。現在まで少量多品目の作物が生産される一方、「道の駅あわくらんど」等の直売所にて地元農産物の販売需要があり、少量ながらも他品目の農産物の供給が、農家所得の維持向上に一役買って来た。しかしながら販売農家の多くは高齢化が進んでおり、少量多品目の安定的供給が困難になってきている。地元実需者のニーズに対応すべく、多種多様な農産物の生産を行う販売農家への支援を行い、実需者への安定的供給を目指すとともに、農家所得の向上を図る。

① アスパラガス

J A 晴れの国岡山英北アグリセンターの主力品目であるアスパラガスは市場での人気も高く、高収益の経営も見込める。軽量で扱いやすく、農協選果場も整備されており、女性や高齢者の方でも安心して取り組むことができる。普及センターの栽培技術の指導・支援を受けながら、新規の生産者の確保に努める。

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1-1	アスパラガス ほうれんそう りんどう	地域振興 作物助成	作付面積	(2021年度) 0.18ha	(2023年度) 0.32ha
1-2	野菜類	地域振興 作物助成	作付面積	(2021年度) 1.93ha	(2023年度) 2.03ha
2	飼料用米	飼料用米生産性 向上助成	作付面積 取組戸数	(2021年度) 0.59ha (2021年度) 1戸	(2023年度) 0.80ha (2023年度) 4戸

7 産地交付金の活用方法の概要

整理 番号	使途	作 期 等	単価 (円/10a)	対象作物	取組要件等
1-1	地域振興作物助成	1	20,000	アスパラガス ほうれんそう りんどう	直売所等へ対象作物を販売する者。
1-2	地域振興作物助成	1	9,000	野菜類 (別紙の通り)	直売所等へ対象作物を販売する者。
2	飼料用米生産性向上助成	1	4,000	飼料用米	多収品種の導入